

第24回 青森県 地域年金事業運営調整会議(資料)

令和7年7月24日
青森年金事務所

1. 地域年金展開事業の概要	3 P
2. 令和6年度事業結果報告	5 P
3. ねんきん月間および年金の日の取り組み	1 3 P
4. 前回の会議で出た意見および課題への対応	1 4 P
5. 令和7年度事業方針	1 7 P

1. 地域年金展開事業の概要 (1/2)

日本年金機構 / 情報の提供側

本部 広報室

- 各事業部で策定した広報計画を取りまとめ、全体の広報実施計画を策定、進捗管理

連携

本部 各事業部

- 各事業部において、年度の取組計画及び広報計画の策定、実施

連携・共有

事業推進統括部 管理・市区町村調整G

- 各事業部及び広報室との連携・共有、情報の確認
- 関係機関との連携・共有、効果的な情報提供
- 地域代表年金事務所との連携、連絡調整の依頼
- 年金事務所への情報の提供、取組の指示発信
- 年金委員への情報の提供、活動の協力依頼

連携・報告

地域代表年金事務所

- 本部との連携、連絡調整
- 年金事務所への助言、取組状況の把握、報告

連携・報告

年金事務所

- 地域年金展開事業の実施
- 年金委員、地域年金推進員への研修、情報提供、活動の要請

年金委員

連携・共有

連携・共有する機関

厚生労働省 ⑤

- 年金局
- 職業安定局
- 保険局
- 社会・援護局
- 地方厚生(支)局

各事業の策定

各事業部の取組

- 未適用事業所にかかる取組
- 被保険者の適用にかかる調査
- 納付督促、免除勧奨にかかる取組
- 年金給付にかかる取組

等

地域年金展開事業の策定

地域年金展開事業 ～公的年金制度の周知～

- ① ポスター、チラシ、リーフレット等の配布
- ② 年金制度説明会の実施
- ③ 年金セミナーの実施
- ④ 出張年金相談
- ⑤ 地域年金事業運営調整会議
- ⑥ 「ねんきん月間」、「年金の日」における各種取組
- ⑦ 「わたしと年金」エッセイ

協力・連携

地域のネットワーク / 協力・連携する機関

地域 ⑤

- 地域のコミュニティ(自治会・町内会)
- 地元企業
- 教育機関(大学・高校・専門学校)
- 商業施設・商工会
- 地方自治体

関係機関/団体 ⑤

- 全国年金受給者団体連合会
- 全国社会保険協会連合会
- 全国社会保険委員会連合会
- 社会保険労務士会
- 社会福祉協議会
- 全国健康保険協会/各健康保険組合
- 国民年金基金

情報の受手側

学生

取組: ①③⑥⑦

国民年金の被保険者

取組: ①②③
④⑥⑦

厚生年金保険の被保険者

取組: ①②④
⑥⑦

事業主

取組: ①②④
⑥⑦

年金受給者

取組: ①②④
⑥⑦

1. 地域年金展開事業の概要（2/2）

地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《取り組み内容》

地域連携事業

- ・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- ・市町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

年金セミナー事業

職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。大学での年金相談、学生納付特例制度の申請窓口の開設およびパンフレットの掲示や設置並びに配付の依頼等。

地域相談事業

年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員活動支援事業

年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業運営調整会議

公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
地域連携事業	(1) 年金制度説明会	<p>①厚生年金加入事業所の事務担当者等に対する制度説明会を対面およびオンラインにより実施した。（12回、621人）</p> <p>②コミュニティFM局のラジオ番組での年金制度説明を実施した。（3回）</p>
	(2) 市町村との連携	<p>①県内全市町村の理事者（首長）等へ公的年金事業に関して情報提供および意見交換を行った。</p> <p>②市町村国民年金事務担当者へ国民年金事務および年金給付事務に係る研修を各年金事務所において半期ごとに実施した。（16回）</p> <p>③市区町村向け情報誌「かけはし」を発行し、年金制度内容、事務手続きおよび日本年金機構における事業について周知した。（6回）</p> <p>④市町村広報誌に年金制度に関する記事を掲載していただいた。（38市町村、286回）</p> <p>⑤市町村のケーブルテレビで年金制度に関する情報を放送していただいた。（1町、4回）</p> <p>⑥庁舎内に各種ポスターの掲示、リーフレット設置および配布をしていただいた。 (予約による年金相談、「わたしと年金」エッセイ、ねんきん月間（年金の日）、ねんきんネット)</p> <p>⑦成人式で国民年金制度に関するリーフレットを配布していただいた。（25市町村）</p>

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
地域連携事業	(3) ハローワークとの連携	<p>①ハローワークで実施している離職者に対する初回説明会において国民年金加入および保険料納付について説明を行った。（1ハローワーク、48回）</p> <p>②上記以外のハローワークでは、初回説明会において国民年金加入および保険料納付のリーフレットを配布していただいた。</p> <p>③アシストハローワークにおいて離職予定者に対する国民年金加入および保険料納付について説明を行い、終了後に個別相談を行った。（18回、316名）</p>
	(4) 関係機関・団体との連携	<p>①青森県社会保険労務士会および支部主催の研修会へ講師を派遣した。（3回）</p> <p>②一般財団法人青森県社会保険協会発行の会報誌「社会保険あおもり」に年金制度に関する記事を掲載していただいた。（6回）</p> <p>③一般財団法人青森県社会保険協会主催の研修会等へ講師を派遣した。（7回）</p> <p>④青森県社会保険委員会および弘前社会保険委員会主催の研修会等へ講師を派遣した。（3回）</p>
	(5) 「わたしと年金」エッセイ	<p>①中学生以上を対象に公的年金の大切さ、応募者ご自身やご家族との公的年金制度のかかわり、公的年金についての考え方など、公的年金制度をテーマにしたエッセイを募集した。</p> <p>【後援】厚生労働省、文部科学省、全国高等学校長協会、全国都道府県教育委員会連合会</p> <p>【応募数】一般67名（青森県2名）、学生1,422名（青森県7名）</p>

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
地域連携事業	(5) 「わたしと年金」エッセイ	<p>②青森県教育委員会および青森県こども家庭部県民活躍推進課から市町村教育委員会、県立高等学校および私立高等学校・中学校へエッセイ募集を周知していただいた。</p> <p>③市町村教育委員会から公立中学校へエッセイ募集を周知していただいた。</p> <p>④県内の高等学校および中学校へ文書による応募依頼を行った。</p> <p>⑤青森県商工会議所連合会および青森県商工会連合会から商工会議所および商工会へエッセイ募集を周知していただいた。</p> <p>⑥県内市町村、商工会議所および商工会にポスター掲示およびリーフレットを設置していただいた。</p>
	(6) 青森県年金ポスターコンクール	<p>①県内の中学生を対象に公的年金を身近に感じていただき、公的年金制度への参加意識を醸成することを目的に、「年金」をテーマとしたポスターを募集した。 【後援】厚生労働省東北厚生局、青森県教育委員会、株式会社東奥日報社、青森県社会保険労務士会、一般財団法人青森県社会保険協会、全国国民年金基金青森支部 【応募数】11校、39作品</p> <p>②青森県教育委員会および青森県こども家庭部県民活躍推進課から市町村教育委員会および私立中学校へポスターコンクール開催を周知していただいた。</p> <p>③市町村教育委員会から公立中学校へポスターコンクール開催を周知していただいた。</p> <p>④県内の中学校へ文書および電話による応募依頼を行った。</p>

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）				
地域連携事業	(6) 青森県年金ポスター コンクール	<p>⑤令和6年11月から令和7年3月の期間、各年金事務所において入賞作品を展示した。</p> <p>⑥一般財団法人青森県社会保険協会の会報誌「社会保険あおもり」の表紙に過去の年金ポスター入賞作品を掲載していただいた。（6回）</p> <p>～令和6年度（第4回）青森県年金ポスター入賞作品～</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">最優秀賞</td> <td style="width: 25%;">優秀賞</td> <td style="width: 25%;">優秀賞</td> <td style="width: 25%;">特別賞</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="text-align: center;">  <p>みんなでつなぐ 年金社会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>みんなで つなげる年金</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>年金で つなごう いい 未来へ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>年金で未来は笑顔</p> </div> </div>	最優秀賞	優秀賞	優秀賞	特別賞
最優秀賞	優秀賞	優秀賞	特別賞			

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
年金セミナー事業	(1) 年金セミナーの開催	<p>①高校生や大学生をはじめとする若い世代が、年金の正しい知識や手続に触れ、公的年金制度が身近で重要なものであると理解していただき、適正な加入や保険料納付等に結び付けるため、教育機関と連携し、学生などの若年者層に対して年金セミナーを開催した。</p> <p>【開催状況】69校（48.3%）対面64校、非対面2校、DVD視聴3校 前年度比 +6校（+2.0%）</p> <p>②年金セミナー開催にあたり、青森県教育委員会および青森県こども家庭部県民活躍推進課から県内高等学校に対して年金セミナー開催を周知していただいた。</p> <p>③年金事務所では地域年金推進員に協力いただき、管内の教育機関に対し文書、電話および訪問による年金セミナー開催のアプローチを行った。</p> <p>④年金セミナー講師を担当する若手職員は、講師養成研修の受講およびリハーサルを行いプレゼンテーション能力の向上を図った。</p>
	(2) 制度周知協力依頼	<p>①大学・専修学校等の構内に国民年金保険料学生納付特例のポスターの掲示、リーフレットの設置および配布を依頼した。（50校）</p> <p>②大学・専門学校の構内で学生納付特例に係る制度説明会および相談会を開催した。（4校）</p>

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
地域相談事業	(1) 出張年金相談の開催	<p>①年金事務所から遠隔のお客様の利便性向上や市町村の要望により、出張年金相談を開催した。また、街角の年金相談センター青森（オフィス）から社会保険労務士等の相談対応者を派遣していただいた。</p> <p>【開催状況】6市町、57回、相談件数507件</p> <p>②市町村の広報誌に出張年金相談のスケジュールを掲載していただいた。</p> <p>③一般財団法人青森県社会保険協会の会報誌「社会保険あおもり」に出張年金相談のスケジュールを掲載していただいた。</p>
	(2) ねんきんネット等を活用した個人向けオンラインサービスの推進	<p>①ネットチャネルの拡大によるお客様の利便性向上を図るため、事業主・被保険者・年金受給者に対するねんきんネット等を活用した各種個人向けオンラインサービスの利用促進に取り組んだ。</p> <p>②マイナンバーカードの普及を踏まえ、マイナポータル経由による「ねんきんネット」の利用を中心とした取り組みを実施した。</p> <p>③ねんきんネットをネットチャネルの中心と位置付け、加入・納付・免除・申請・通知・情報照会に係る個人の手続をオンラインで行える環境を構築するための機能拡充を実施した。</p> <p>【オンラインサービス（ねんきん定期便、控除証明書、源泉徴収票、免除・納付猶予、学生納付特例、扶養申告等申告書）の利用・登録件数】45,997件（前年度比+18,530件）</p>

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
年金委員活動支援事業	(1) 年金委員研修会	<p>①職域型年金委員に対する研修会を開催した。（9回、765名）</p> <p>②地域型年金委員に対する連絡会および研修会を開催した。（8回、67名）</p> <p>③職域型年金委員および地域型年金委員を対象とした全国年金委員研修を開催した。東京参集型には職域型年金委員1名および地域型年金委員1名に出席していただいた。また、一部の年金委員には各年金事務所でのテレビ会議で参加していただいた。</p>
	(2) 情報提供	<p>①年金委員活動の活性化に向け、年金委員が普及・啓発活動を行うために広報誌を活用し必要な情報を発信した。（職域型年金委員向け広報誌「スマイル」2回、地域型年金委員向け広報誌「支え合い」4回）</p> <p>②広報誌のほか、以下のガイドブックおよびリーフレット等を配布した。 「知っておきたい年金のはなし」、「退職後の年金手続きガイド」、「老齢・障害・遺族年金ガイド」、その他年金委員が希望するリーフレット</p>
	(3) 年金委員委嘱拡大	<p>①新規加入事業所および未設置事業所に対して、文書、電話および訪問による勧奨を行い、職域型年金委員140名を委嘱した。</p> <p>②市町村および教育機関等に対して勧奨を行い、地域型年金委員14名を委嘱した。</p> <p>③全国健康保険協会青森支部から、健康保険委員の委嘱を受けている方に対し、年金委員制度を周知していただいた。</p>

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
年金委員活動支援事業	(4) 年金委員功労者表彰	<p>①多年にわたり、政府管掌年金事業の推進・発展に貢献された年金委員の方々に対し、年金委員功労者表彰伝達式を全国健康保険協会青森支部、一般財団法人青森県社会保険協会および青森県社会保険委員会連合会と共同で開催した。</p> <p>【開催日】令和6年11月21日（木）</p> <p>【場所】ホテル青森</p> <p>【受賞者】厚生労働大臣表彰1名、日本年金機構理事長表彰3名、日本年金機構理事表彰6名</p>     <p>※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。</p>

3. ねんきん月間および年金の日の取り組み

青森県におけるねんきん月間および年金の日の取り組み事例

日本年金機構では、厚生労働省と協力して国民の皆さんに公的年金を身近に感じていただき、年金制度に対する理解を深めていただくよう、11月を「ねんきん月間」と位置付け、公的年金制度の普及・啓発活動を展開している。

また、国民お一人お一人にねんきんネットを利用して年金記録や年金受給見込額を確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、厚生労働省において、平成26年度より11月30日（いいみらい）を「年金の日」に制定し、公的年金制度に対する理解を深めていただく取り組みを実施している。

①「ねんきん月間」「年金の日」の周知

- ・日本年金機構ホームページにおいて、各年金事務所の取り組みを周知した。
- ・市町村の庁舎内に年金の日のポスターの掲示、ねんきん月間およびねんきんネットのリーフレットを設置していただいた。
- ・県政記者クラブへねんきん月間にかかる情報提供を行った。

②各年金事務所の取り組み

- ・各年金事務所において、年金セミナー、制度説明会、出張年金相談を開催した。
- ・八戸年金事務所では、城下保育園、こばとこども園の園児に「大切な人（おじいちゃん、おばあちゃん）」をテーマに似顔絵を描いていただき、69作品を年金事務所内に展示した。

○城下保育園園児の作品



○こばとこども園園児の作品



4. 前回の会議で出た意見および課題への対応（1/3）

事業名	意見・課題事項	対応状況	備考
地域年金展開事業全般	県内の国民年金保険料の納付率の状況や年金セミナーの開催状況など、定期的にマスコミへリリースをしてはどうか。	<p>国民年金保険料納付状況等に関するプレスリリースは、厚生労働省で行うこととされている。リリース内容は全国、都道府県および市町村ごとの保険料納付率となっている。【回答済み】</p> <p>年金セミナーについて、取材対応可能な教育機関がある場合は県政記者クラブに投げ込みを行う予定としている。【検討中】</p>	
地域連携事業	ハローワークでの初回説明会における年金事務所の説明について確認したところ、むつは実施可能で既に実施済み、時間的に実施困難が八戸・弘前・黒石。その他の5所は内容によってはできないこともないとのことであるため、アプローチしていただければ可能になるのではないか。	<p>現在、失業者を対象とした保険料免除等勧奨については、文書送付を中心に行っており、ハローワークでの初回説明会における説明は、年金事務所の体制や移動時間の関係等もあることから、むつ以外は実施できていない。実施については今後も検討課題としたい。【検討中】</p>	
	ポスターコンクールや年金の日等について、マスコミにどの程度アプローチしているか。	<p>ポスターコンクールについては、マスコミの活用は出来ていないが、ねんきん月間、年金の日については、県政記者クラブに投げ込みを行っている。【回答済み】</p>	
	ポスターコンクールの作品数増に向け、過去に応募いただいた学校の美術の先生が転任された場合、転任先の学校へアプローチが必要ではないかと前回会議で意見させていただいたが、そのような取り組みをしているか。	<p>青森年金事務所では管内の全中学校に電話によるアプローチを行っているほか、むつ年金事務所では訪問によるアプローチを行っている。【一部回答】</p> <p>その他、全中学校への応募案内に生徒が年金についてイメージしやすいようにイラストを中心としたリーフレットを作成・同封して送付し、応募数増に取り組んでいる。【回答済み】</p>	

4. 前回の会議で出た意見および課題への対応（2/3）

事業名	意見・課題事項	対応状況	備考
地域連携事業	年金のエッセイ、ポスターコンクールに関して、表彰の場があると思うが、どうような方法で発表して表彰を行っているのか。	エッセイは受賞者に厚生労働省本省に来ていただき、大臣執務室において大臣から表彰状を渡している。 ポスターコンクールは、受賞者の中学校校長室等において管轄年金事務所の職員から表彰状を渡している。 【回答済み】	
	県のコンクールであれば、会場で表彰式を行うことをマスコミにリリースすることで周知ができ、応募数増にも繋がるのではないか。	応募数増の取り組みを行った上で、商業施設等での作品展示や会場における表彰式について検討したい。 【検討中】	
年金セミナー事業	年金セミナーに関するマスコミの活用としてどのような事を行っているか。	年金セミナーについては、これまでマスコミの活用は出来ていなかった。マスコミの活用の一つとして、取材対応可能な教育機関がある場合は県政記者クラブに投げ込みを行う予定としている。 【検討中】	
	年金セミナーについて、オンデマンド方式をうまく使うことによって実施数増に繋がるのではないか。	年金セミナーは、対面またはオンラインでの実施の他、DVDや資料を送付しての実施など、様々な方法による実施を案内している。 【回答済み】	
地域相談事業	出張年金相談を青森市でも実施していただければ、青森市の職員が対応できないことをその場で対応できると思われる所以、実施していただけないか。	年金事務所から遠隔の市町村に職員を派遣しており、場所を増やすことは体制的に厳しい状況となっている。今後も、市町村職員を対象とした研修等の充実を図っていきたい。また、不明な事は電話等で問い合わせいただきたい。 【回答済み】	

4. 前回の会議で出た意見および課題への対応（3/3）

事業名	意見・課題事項	対応状況	備考
年金委員活動支援事業	職域型年金委員の中でも、特に被保険者数の多い事業所における役割は大きいと思われるが、被保険者の規模別での年金委員委嘱率等の状況を知りたい。	青森県の被保険者規模別職域型年金委員の委嘱割合は、被保険者50人以上事業所では1,016事業所中565事業所、割合は55.61%、50人未満事業所では18,334事業所中979事業所、割合は5.3%。【回答済み】	
	年金委員のいない事業所には、年金委員になっていただくような活動を個別にターゲットを絞って勧奨をしたらどうか。	被保険者50人以上の事業所を優先的に勧奨を行ってきたが、県内では50人未満の事業所が多いため、新規加入事業所への勧奨の他、様々な場面で依頼していきたい。【回答済み】	
	今後もあくまで50人以上を優先して勧奨を進めていくのか。さらに幅広にやっていくのか方向性を教えてほしい。	現在のところ、本部の方針で50人以上の事業所を優先的に勧奨を行っているが、新規加入事業所への勧奨の他、様々な場面で依頼していきたい。【回答済み】	

○各事業への取り組み方針

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
地域連携事業	(1) 被保険者、事業主および年金受給者等に対する年金制度説明会を行い、公的年金制度の周知・啓発活動を行う。	①被保険者、事業所、年金受給者等の枠にとらわれず、様々な機会を活用し制度説明会について案内を行う。
	(2) 市町村と連携し、公的年金制度の周知・啓発活動を行う。	①市町村の理事者（首長）等へ公的年金事業に関して情報提供および意見交換を行う。 ②市町村の国民年金事務担当者に対する研修の開催および情報誌を活用した情報提供を行う。 ③市町村に協力いただき、庁舎内へのポスター掲示、リーフレット設置および配布により、一般住民に対する公的年金制度の周知・啓発を行う。 ④市町村に協力いただき、広報誌等を活用した公的年金制度の周知・啓発を行う。
	(3) 関係機関・団体と連携し、公的年金制度の周知・啓発活動を行う。	①ハローワークと連携し、離職者に対する国民年金加入手続き等の周知および相談会を開催する。 ②関係機関・団体主催の研修会等へ講師派遣を行う。 ③関係機関・団体に協力いただき、会報誌等を活用した公的年金制度の周知・啓発を行う。

○各事業への取り組み方針

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
地域連携事業	<p>(4) 中学生以上を対象に公的年金の大切さ、応募者ご自身やご家族との公的年金制度のかかわり、公的年金についての考え方など、公的年金制度をテーマにしたエッセイを募集する。</p>	<p>【後援】厚生労働省、文部科学省、全国高等学校校長協会、全国都道府県教育委員会連合会 【募集期間】令和7年6月2日～9月8日</p> <p>①青森県教育委員会および青森県こども家庭部県民活躍推進課に協力をいただき、高等学校および中学校に対し文書によるエッセイ募集を周知する。 ②市町村、青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会に協力をいただき、エッセイ募集を周知する。</p>
	<p>(5) 県内の中学生を対象に公的年金を身近に感じていただき、公的年金制度への参加意識を醸成することを目的に、「第5回青森県年金ポスターコンクール」を開催する。</p>	<p>【後援】厚生労働省東北厚生局、青森県教育委員会、株式会社東奥日報社、青森県社会保険労務士会、一般財団法人青森県社会保険協会、全国国民年金基金青森支部 【募集期間】令和7年6月2日～9月16日</p> <p>①青森県教育委員会および青森県こども家庭部県民活躍推進課等に協力をいただき、中学校に対し文書、電話および訪問によるポスター募集を周知する。</p>

○各事業への取り組み方針

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
年金セミナー事業	<p>（1）高校生や大学生をはじめとする若い世代が、年金の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであると理解することは、地域年金展開事業の核となる重要な取り組みとなるため、各種教育機関と連携し年金セミナーを開催する。また、対象校に対する開催割合を令和6年度の実績である48.3%を上回るよう努める。</p>	<p>①青森県教育委員会および青森県こども家庭部県民活躍推進課等に協力をいただき、各種教育機関に対し文書、電話および訪問による年金セミナー開催のアプローチを行う。</p> <p>②年金セミナー担当講師のプレゼンテーション能力向上を目的とした研修等を行い育成を図る。</p> <p>③大学等に協力をいただき、構内に国民年金保険料学生納付特例のポスターの掲示およびリーフレットを設置する。</p> <p>④大学等に協力をいただき、構内で学生納付特例申請等相談会を開催する。</p>
地域相談事業	<p>（1）年金事務所から遠隔のお客様の利便性向上のため出張年金相談を開催する。</p>	<p>①街角の年金相談センター青森（オフィス）に協力をいただき、開催要望のあった市町村において出張年金相談を開催する。</p> <p>②市町村、一般財団法人青森県社会保険協会に協力をいただき、広報誌等においてスケジュール等を周知する。</p>
	<p>（2）ねんきんネット等を活用した個人向けオンラインサービスの利用を推進する。</p>	<p>①年金事務所の窓口に来所されるお客様に対し、リーフレットを活用したサービスの概要説明および操作案内を行う。</p> <p>②出張年金相談、研修、事業所調査等お客様と接触する機会にリーフレットを活用したサービスの概要説明および操作案内を行う。</p>

○各事業への取り組み方針

事業名	取り組み内容	具体的な活動（目標数値・内容）
年金委員活動 支援事業	(1) 公的年金制度に関する情報を提供し、年金委員の活動環境を整備する。	①年金委員研修および地域型年金委員連絡会を開催し、公的年金制度に関する周知を行う。 ②広報誌、リーフレットおよびホームページを活用した情報提供を行う。
	(2) 年金委員の委嘱拡大を図る。	①新規加入事業所および未設置事業所、市町村および教育機関等に対して文書、電話および訪問による勧奨を行う。
	(3) 多年にわたり、政府管掌年金事業の推進・発展に貢献された年金委員の方々に対し、年金委員功労者表彰伝達式を全国健康保険協会青森支部、一般財団法人青森県社会保険協会および青森県社会保険委員会連合会と共同で開催する。	【開催日】令和7年11月14日（金） 【場所】 ホテル青森